

立山電化工業株式会社

創 立：1945年
業 種：電気めっき業
事業内容：PGA ピン・チップ抵抗体やコネクタのめっき処理
従業員数：205名
所 在 地：富山県高岡市赤祖父 546
URL：http://www.tateyamadenka.co.jp/



パソコンやスマートフォン、自動車向半導体などに使用する電子部品などに用いられ、生活に欠かせない製品の一部となっている、「機能めっき」の専門メーカーである立山電化工業株式会社。改革の推進活動に率先して取り組まれた総務部の小川さんにお話を伺いました。

属人化を解消し、「無駄」を省き、「効率」を上げたい

以前から人事・労務に関する業務を担当してきましたが、「働き方改革」というテーマはよく耳にして興味はあるものの、しっかりと向き合うような経験がありませんでした。いつかは自社でも取り組んでみたいという漠然とした思いがあり、富山県が主催する「働き方改革」に関連するセミナーを探して積極的に参加し、アンテナを張っていました。

そんな矢先、2021年(R3)の働き方改革実践モデル企業の最終報告会を動画で見て、**県が主導でコンサルティングを無料で受けられる**ことを知り、「この機会を逃すわけにはいかない!」と思ったのがきっかけでした。ただ、社内では前例のないものに対しては腰が重かったため、他社での取り組みの事例を紹介したり、プロのコンサルティングを受けられるメリットを説明することによって、会社の了承を得ることができました。



総務部の小川さん

業務分析と棚卸で「見える化」と「平準化」が残業を減らした

働き方改革は、すぐに売上向上に直結するプロジェクトとしてイメージしにくいことから、総務部以外だと何をしたら良いか見当がつかない人も多いだろうと思い、まずは総務部での働き方改革に取り組みました。総務部は個々が独立した業務の専門家、という感じで仕事を進めているため、横のつながりが希薄になりがちで、業務の負担に偏りが出ても、あまりフォローできないような体制になっていませんでした。

No	属性	内容	from	to
1	総務	社用車保険管理		
2	総務	社内行事準備-経営方針発表会、永年勤続賞改善提案表彰		
3	総務	各種調査への回答		
9	総務	内部研修(かよう塾)案内及び準備		
10	総務	備品在庫数管理		
11	採用	面接準備(案内、文章作成問題、会場手配)		
12	総務	郵便物対応		
13	総務	小切手振り出し		
14	総務	請求書発行		
15	総務	届達処理(賞状、未払、給料、住民税)		
16	総務	手形取立依頼		
17	総務	e-tan申請		
18	総務	その他売上Unitbase入力		
19	総務	仕訳入力		
20	総務	アオカード清算		
35	情報	複合機の設定、管理		
36	情報	複合機用ICカードの管理		
50	労務	【健診】各部へ周知票、健診結果を配布		
51	労務	【健診】就労証明書作成-本人へ渡す		
52	労務	【安楽】DVD教育 DVD手配、受け渡し		
53	労務	【社保】健康保険証紛失申請手続き		

合計 53 項目の属人化解消



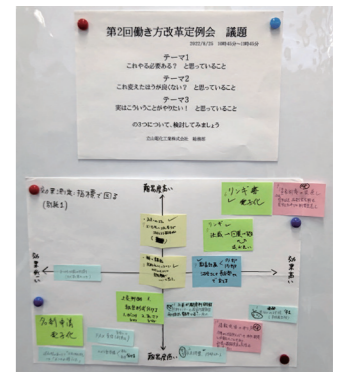
ヘルプ可能な状態がすぐ分かる
→頼みやすい

そこで、各々の業務内容を書き出し、棚卸をすることによって**業務内容の明確化と、事例の共有化**、つまり「見える化」を試してみました。そうすることでお互いの業務を分担できることがわかり、改めて担当業務の「仕分けの再構築」も行うことができました。この取り組みが**属人化の解消**につながり、1つの業務を2人以上でカバーすることで**協力体制**ができ上がり、**労働時間も短縮**されました。相乗効果としては、多忙な所属長の「**業務を軽減**」をすることもできました。

「なくそう・変えよう」の「カエル会議®」

「見える化」の次は、カエル会議を定期的に行い、「なくそう・変えよう・こういうことがやりたい」の検討会を中心にして意見を出し合い、優先度の高いものから取り組みました。

検討会で取り決めたものとしては、「**感謝のメッセージカード**」の導入と「**業務慣習の見直し**」があります。



「感謝のメッセージカード」では手製のカードを用意し、業務を行う中で感謝を伝えたい時にカードを渡すようにしたところ、社員に好評で、今でも「感謝のメッセージカード」は続いています。さらに**直接相手に言葉で伝えることが増え、社内のコミュニケーションが良くなりました**。



「業務慣習の見直し」については、例として「年末調整業務の見直し」「管理職面談の時間外開催の見直し」を行いました。どちらもなぜか今まで「定時後から始める」という暗黙のルールがあり、それが残業に繋がっていたので、早い段階でスケジュールを立て、時間内に実施するように意識や仕組みを変更しました。

※「カエル会議」は株式会社ワーク・ライフバランスの登録商標です。
チームで目指す目標(ありたい姿)を設定し、その目標達成に向けた課題を抽出して、改善案を考える会議です。

今後に向けて

「感謝のメッセージカード」は、総務だけでなく他の部署でも好評な声もある一方で、浸透が十分でない面があるので、これを広げていくためにも、**他部署での取り組みも検討**しています。

また、今後の課題には、「**年間休日日数の見直し**」「**モチベーションアップに繋がる制度導入**」を掲げており、どちらも難しい内容ではありますが、会社に働きかけていきたいと思っています。

今回の働き方改革実践モデル企業として、総務部がメインとして活動しましたが、今後、これを機に、総務部以外の部署でも働き方改革の推進に取り組めないか検討中です。

今回、富山県が募集をしたこの事業において、(株)ワーク・ライフバランスさんから力を借りて、**大変有意義な活動ができました**。これから取り組みたいとお考えの企業様は、「改革」という大きな言葉に引っぱられることなく、小さな、取り組みやすいことからぜひ始められては如何でしょうか。

